

令和 4 年度

事業報告書

—第 2 期—

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

社会福祉法人 絆敬会

滋賀県甲賀市水口町秋葉 45 番地 1 号

状況報告

(1) 法人概要

法人名 : 社会福祉法人絆敬会
社会福祉法人設立認可日 : 令和 3 年 11 月 16 日 甲福医第 266 号
設立登記年月日 : 令和 3 年 11 月 29 日
代表者名 : 理事長 坂梨仁勇
法人所在地 : 滋賀県甲賀市水口町秋葉 4 5 番地 1 号

(2) 法人事業

事業種別 : 幼保連携型認定こども園
事業所名 : ここのっす園
代表者 : 林昭子
定員 : 246 名
事業開始日 : 令和 4 年 4 月 1 日

(3) 定款変更状況

令和 5 年 4 月 1 日に変更予定

(4) 役員状況および役員名簿

理事総数 7 名 監事 2 名

任期 : 令和 3 年 11 月 26 日～令和 5 年に開催する令和 4 年度のものに関する定時
評議員会終結時まで

理事長	坂梨仁勇	理事	林昭子	理事	大田垣敏信
理事	小川敬之	理事	上杉暢子	理事	岩倉浩司
理事	楠神渉	監事	木岡和実	監事	小池隆二

評議員 8 名

任期 : 令和 3 年 11 月 26 日～令和 7 年に開催する令和 6 年度のものに関する定時
評議員会終結時まで

評議員	田中真純	評議員	森口茂	評議員	増田信之	評議員	深井伸吾
評議員	佐藤稔	評議員	金子智美	評議員	南征吾	評議員	黒田隆

(5) 資産の状況

滋賀県甲賀市水口町秋葉45番1 所在の鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建

このっす園園舎 一棟 (1540.06 m²)

運用財産 なし

② 法人本部 (甲賀市)

・事業報告概要 (総括)

今年度は、開園初年度で開園当初に新型コロナウイルス感染拡大のため休園したことや園舎の構造への疑問など持たれる苦情が多数上がってきた。早急な対応ができず、すべて事業に大きな影響を及ぼした。

特に苦情への解決に、理事会で対応策を練り、保護者説明会の開催の実施や甲賀市保育幼稚園課への園指導の協力、意見箱の設置による質問への回答、園からのお知らせやお願い、保護者からの質問については、掲示板やコードモンを使用して、早急な対応に努めるなど視覚化に取り組みました。その結果、苦情の数は減らすことはできた。

初期の騒動が要因で、園児数の減少がみられたが、3月の最終園児数は202名(75%)で終わった。内部統制への説明、園内外の研修が実施できていないことが多くあり、次年度、迅速に進めるように努めます。

・実施状況

法人研修会の企画・運営

新型コロナウイルス感染症の影響のため、上半期はコロナ対応に伴う、保護者対応における内容、8月から園長・副園長と随時会議を実施した。

日々の業務について、確認と実施状況、解決に至る草案を必要に応じてEメール等など使い情報共有を実施。毎朝、報告・連絡・相談も実施していた。

行政との情報交換として、毎週火曜日を中心に30分程度、企画(運動をおおく取り入れた保育内容)について話合う。ドッジボール協会の紹介、手話・国際交流など多義にわたる視野を兼ね備え、園児にとっていい経験とされる内容を取り入れ実施しました。

・理事会・評議員会開催状況

(理事会)

第1回 令和3年12月4日

第1号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の決議

第2号議案 評議員選任・解任委員の選任

第3号議案 評議員選任・解任委員会開催場所・日時案

第4号議案 評議員候補者の選出

第5号議案 役員等の報酬（案）および役員等に対する報酬支給基準案

第6号議案 理事・監事候補者の選出

第7号議案 評議員会の開催について

第2回 令和3年12月16日

第1号議案 理事長・業務執行理事の選任について

第2号議案 諸規程の決議について

第3号議案 令和3年度事業計画予算（案）について

第4号議案 評議員の選任報告について

第3回 令和4年03月21日

第1号議案 令和4年度事業計画及び収支予算（案）について

第2号議案 施設整備補助金および医療機構貸付額変更について

第3号議案 法人向け生命保険加入について

第4号議案 諸規程の改定・制定について

第5号議案 第3者委員の選任について

第4回 令和4年05月7日

第1号議案 甲賀市地域共生社会推進課の要請書に関する法人としての回答書作成について

第2号議案 利用者権利擁護の実現について

第3号議案 理事会の活性化と機能強化について

第4号議案 福祉人材の確保と育成について

第5回 令和4年5月14日

第1号議案 「保護者代表 要求案 法人としての回答書作成について」

資料2への回答

第2号議案 資料3への回答

第3号議案 5月28日・29日 保護者説明会について

第4号議案 こども政策部さまへの理事会としての回答作成について

第5回 令和4年06月04日

第1号議案 事業報告及び決算報告承認について

第2号議案 評議員会の開催について

第6回 令和4年08月30日

第1号議案 湖東信用金庫様からの融資契約について

第2号議案 株式会社ジッセント・シップとの金銭消費貸借契約書について

第7回 令和4年11月08日

第1号議案 湖東信用金庫様からの融資契約について

第2号議案 株式会社ジッセント・シップとの貸付契約について

第8回 令和4年12月21日

第1号議案 補正予算および次年度予算の作成に至る
財務状況について（大辻税理士法人担当者を交えての検討）

第9回 令和4年12月29日

第1号議案 業務執行理事解職の決議について

第2号議案 評議員会開催について

第10回 令和5年2月8日

第1号議案 12月29日理事会の決議の取り消しについて

（林業務執行理事・園長解職の件）

第2号議案 坂梨理事長 理事辞任勧告

第11回 令和5年2月10日

第1号議案 2月8日坂梨理事長 理事辞任勧告について

第12回

第1号議案 令和4年度 補正予算について

第2号議案 令和5年度 事業予算案について

第3号議案 令和5年度 事業計画について

第4号議案 就業規則改定について

第5号議案 給与規程について

第6号議案 株式会社ジッセント・シップとの金銭消費貸借契約書について

(評議員会)

第1回 令和3年12月16日

第1号議案 理事・監事の選任について

第2号議案 役員等の報酬及び役員等報酬規程について

第2回 令和4年04月29日

第1号議案 定款の一部変更について（特別決議事項）

第3回 令和4年06月25日

第1号議案 事業報告及び決算報告承認について

第2号議案 理事および監事の報酬の額について

第3号議案 社会福祉充実計画の承認について

第4回 令和5年3月28日

第1号報告 令和4年度補正予算について

第2号報告 事業予算案について

第3号報告 令和5年度事業計画について

(評議員選任・解任委員会)

令和3年12月4日

第1号議案 評議員の選任について

(第三者委員会)

令和4年 5月25日

(地域貢献事業)

令和4年7月より未就園児交流を目的に「子育てサロン」を毎月第4週水曜日に実施しました。毎月3組ほど来園されて、絵本の読み聞かせや茶話会を行い、交流を図りました。また、地域の保育経験者をゲストにお呼びし、子育てへの助言をいただくなどして進めました。

(法人内会議実施状況)

4月10日	新型コロナ感染に伴い対応について
5月10日	保護者説明会の説明文章のまとめについて
6月10日	保護者説明会の説明文章のまとめについて
7月12日	8月の運営について 人事管理について 売上確認について
8月12日	人事について 売上管理について 労務・給与管理システム変更について
9月14日	来年度入園申込 現況の売上について 労働基準監督署について 実地監査(県)の回答について
10月12日	10月の運営状況について 子育てサロンの実施状況について
11月09日	労働基準監督署の回答について、給食業者の見直しについて
12月05日	甲賀市保育幼稚園課の実地指導について、ボーナス支給について 実地監査(甲賀市地域共生課)の回答について 小学校交流事業について
1月05日	給与計算ソフトの確認について
2月21日	実施監査(甲賀市地域共生課)
3月10日	処遇改善の作成について

(人財確保への取組み)

主婦層や若者層の職員の就労の安定を図るため、シフト作成時に休み希望をできる限り受け入れること、急な就労時間の変更やお休みへの対応などできる限り要望に応え、働きやすい環境を実施した。

離職率は15%で抑えられた。今後、さらなる安定を図るため、カウンセリングの導入、細かな規程を定めることなど外部などの協力をもらい、対応していく予定である。

③ 事業所：ここのっす園 (甲賀市)

・事業報告概要

保育理念

- 就学前の子どもに関する教育・保育の総合的な提供の推進に関する法律に基づき、保護者、地域、職員が一体となり支え合う保育。
- 自然に触れ合う機会を多くし、生きる力を育む保育
- 心・技・体を具える未来を図るための創造の基礎を培う保育

保育目標

- ・遊びを通して、様々な経験のもと豊かな感性や表現力・規範意識力を培い、生きる力を身につける。

こどもの像

- ・自分らしく、意欲的で思いやりのある子ども
- ・他者のよろこびを感じられる子ども
- ・丈夫な体と豊かな想像力をもてる子ども

・実施状況

保育の取組み

・With コロナへの取組み

開園当初の4月に全園を休園となり、その後、クラス単位での取り組みを中心として対応していた。感染リスクを避けるため、できる限り園児の交流を抑えることや食事の際は、黙食・飛沫感染防止シールドの徹底、手洗い、館内の清掃に注力を注いだ。その結果、5月以降は感染者をできるだけ抑え、園運営を実施できた。しかし、マスク越しでの子どもたちのとの交流が多く、今後、どのような影響があるのかを考え、さらには感染リスクを配慮しながらの乳幼児保育に対応していくことを考え大切な時期に多くの経験を提供しながらサービスを進めることができた。

・未満児保育への取組み

育児担当制を導入して、子どもたちのとの接する機会をおおく促し、こころの安定と、安心な場所である認識を抱かせ、安全でかつ活発な運動を提供し、自主自立を支える保を行った。

・以上児保育

各クラス単位で運営を行う。特に、元気な体づくりをテーマに様々な運動あそびを取り入れた。その結果、給食の摂取量が増えたことだけでなく、年齢以上のあそびにチャレンジできる子どもたちが増えていた。

・食事について

毎月給食会議を行うなど通して、食事の際の目的を「食事の楽しさ」「食事に興味を持つ」「食事のにおいを感じる」「よく噛む」などを進めてきた。結果、たくさん食べる子どもたちが増えた。献立表を配るなどして家庭との連携を図った。

健康管理について

- ・毎月 身体測定の実施 保護者向け ほけだよりの発行を行い、家庭との連携を図った。
- ・歯の健康に関して、5 歳児「フッ化物洗口」を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染予防やインフルエンザなど流行時期の情報を含めて保護者や市と連携を図っていた。流行をできる限り抑え、健康で過ごせるようにできた。

防災について

毎月防災訓練・不審者対応訓練の実施

危機管理

- ・感染症対策
開園当初 4 月に新型コロナ感染が園内で拡大して、休園を余儀なくされた。
その後、甲賀市保育幼稚園課の指導のもと開園までかぎつけた。5 月以降園内で感染はあったものの、市と連携しクラスターとはならないまでに食い止めることができた。多くの園児、保護者には多大なる迷惑を掛けてしまった。
- ・怪我・病気への対応
戸外遊びや教室内での怪我が多く発生した。顔や口、打撲など病院受診するケースがありました。事故発生直後に看護職員に報告し対応を求め、怪我の状況を保護者様に連絡しておりました。 怪我をされたケースをその日に振り返り、今後同じことを繰り返さないために、職員会議や朝礼、職員伝達ノートで情報共有する機会としていた。命の重みや怪我の対応を丁寧に行うように職員全員が意識をもって取り組んだ。
- ・園児の安全確保
保護者に対して、園だよりや掲示板、コドモンを通して、不審者の注意や降園後の園庭でのあそびについてお願い通知をしていました。
また、駐車場での危険や車の導線などの危険に関しても、保護者と園児にも安全意識をもってもらいよう工夫して働きかけました。

業務について

業務効率化

- ・保育業務の簡素化のため、コドモン（ICT）の導入をした。開園当時は、戸惑うことが多くあったが、職員全員の創意工夫で、少しずつ業務軽減につながった。
- ・業務軽減ができていることは多くありますが、新しいルールやルールの変更などによ

り、振り出しに戻るケースも多くある。書類の作成や保育実践の在り方、市から実地監査指導や急なトラブルへの対応が該当します。全体としての業務分担の見直しが必要であった。

ワークライフバランスへの取り組み

- ・甲賀市ワークライフバランス事業「イクボス宣言」を行った。より質の良い保育サービスを「チームここのっす」で実現するためや一人一人の職員が充実した仕事と私生活を実現できるよう、居心地よく働き続けられる職場環境を目指し宣言しました。さらには、地域に「安心・安全」をもたらす園づくりに取り組んできました。

・地域の声を聴く サービスの向上

毎月第3者委員会の会議を行い、地域の声を聴く取り組みを実施しました。

保護者からの職員への要望や行事変更や園で情報発信の仕方など不満等の意見をおおぐいただきました。今後、保護者と園とのコミュニケーションを図ることや保護者の思いや願いに寄り添った園運営に努めます。保育運営について、様々なご意見がありましたが、深くご理解いただけのご意見も多くあり、職員に伝えモチベーション維持につなげていくもでき、この先も取り組みます。

園外研修への取り組み

保育現場におけるリーダー的な保育士等を育成するため「保育士等キャリアアップ研修の実施について」等が厚生労働省や市から案内が来ていたが、充実した取り組みは行えなかった。次年度は、スケジュールを立案し、研修に参加できるように取り組む。

園内研修

- ・外部講師を迎えての園内研修を実施することができなかった。
次年度は、スケジュールを立案し、実施できるように取り組む。

・年間行事

- 4月 入園式
- 5月 実施できず
- 6月 実施できず
- 7月 水遊び
- 8月 読み聞かせ教室 水遊び
- 9月 バス遠足 リトミック教室
- 10月 運動会 バス遠足 ドッジボール教室
- 11月 ドッジボール教室 リトミック教室

12月 手話教室 サッカー教室 読み聞かせ教室 屋外保育（散歩） 餅つき

1月 読み聞かせ教室

2月 生活発表会 忍者体験（5歳児）

3月 おひなさま 卒園式

・園長等人事および職員状況

園長 林昭子 令和4年4月1日～

副園長 栗田朝美 令和4年4月1日～

保育士 29名

保育支援員 11名

看護職員 2名

事務職員 2名

用務員 2名

合計 52名

以上